

県医労新聞

2008年9月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1819号(月刊34号)

日本母親大会

7/26~27



午後のオープニングは日本福祉大チーム「夢人党」による ど真ん中まつりダンス(27日)

目次

- 1P 原水爆禁止世界大会in広島
6.9署名行動
- 2P 公立病院改革ガイドライン
- 3-4P 女性部ニュース
- 5P 日本医労連定期大会
看護部ニュース
- 6P つぶやき、とんがらし
パズル当選者発表
- 7P 職場川柳、懸賞パズル
9、10月の予定
フレッシュセミナーのお知らせ



母親パレード(26日)

原水爆禁止2008世界大会in広島

核兵器のない 世界を求めて



嵐の中の母子像（平和公園）



世界大会—広島 開会総会（4日）

米軍いいなりの 政府を許すな

原水爆禁止二〇〇八世界大会は、「核兵器も戦争もない世界を」をかげ、八月四日から六日まで広島で開催されました。大会には、九ヶ国の政府代表、三十四ヶ国の海外代表も参加。二〇一〇年のNPT（核不拡散条約）会議へ向け、国際署名に取り組みことを決意し、終了しました。県医労からは二名、岩手からは三十八名が参加しました。

八月五日、岩国・呉基地調査行動に参加。基地を見学するのは生まれて初めて。中に入れなくても、ものものしい雰囲気は十分に伝わりました。

米軍再編計画により核攻撃機の配備が五倍に増え、百二十機にもなるとの事。

母子像に 「こみあげる涙

「広島は暑かった！」こんな日に原爆が落とされたんだと実感しました。

原爆ドームの前で記念撮影し、平和公園内の記念碑や遺跡を巡っていると公園の玄関口にある嵐の中の母子像に辿り着きました。像の前で写真を撮ることもできず、こみ上げてくる涙を

「原爆が落とされた日です」

八月六日の昼休み時間に、盛岡市大通り商店街で岩手自治労連や盛岡地域労連などから十九名が参加し、核兵器廃絶を求める署名に取り組みしました。三十度を超える猛暑の中でしたが、「今日は広島に原爆が落とされた日です」の呼びかけに多くの方が足を止め、四十分間で九十八筆の署名が寄せられました。八月九日にも同じ場所で署名に取り組み、九十二筆の署名が集まりました。

おさえる自分がいました。

記念式典で子供代表が「生き抜いてくれた人達にありがとう。私達まで命が続いています」と話した言葉に感動し、核兵器を実際に使われてしまった広島からの発信に耳を傾け、原爆や戦争の事実を伝えていかなければと思いました。

二戸支部（〇〇〇〇）



写真（上）=家族で署名（9日）



（右）=子どもの分もしっかり署名（6日）



写真右〇〇、左〇〇

早急に全文部でガイドラインの学習を!! 再編・ネットワーク化で病院がなくなる??

全国に約一〇〇〇病院ある県立、市町村立等公立病院を、半分なくしてしまおうという「公立病院改革ガイドライン」が、昨年十二月、総務省から発表されました。

日本医労連では、いち早くこの情報入手し、総務省交渉で「自治体病院つぶしの方針を出すな」「住民の意見も聞かず問題がある」と追及してきました。

当初は、全国自治体病院協議会なども反対を表明していましたが、病院・勤務医の集約化で医師の労働条件の改善につながることで、改革する場合の必要な財政措置が示されたことなどから、発表段階では自治体病

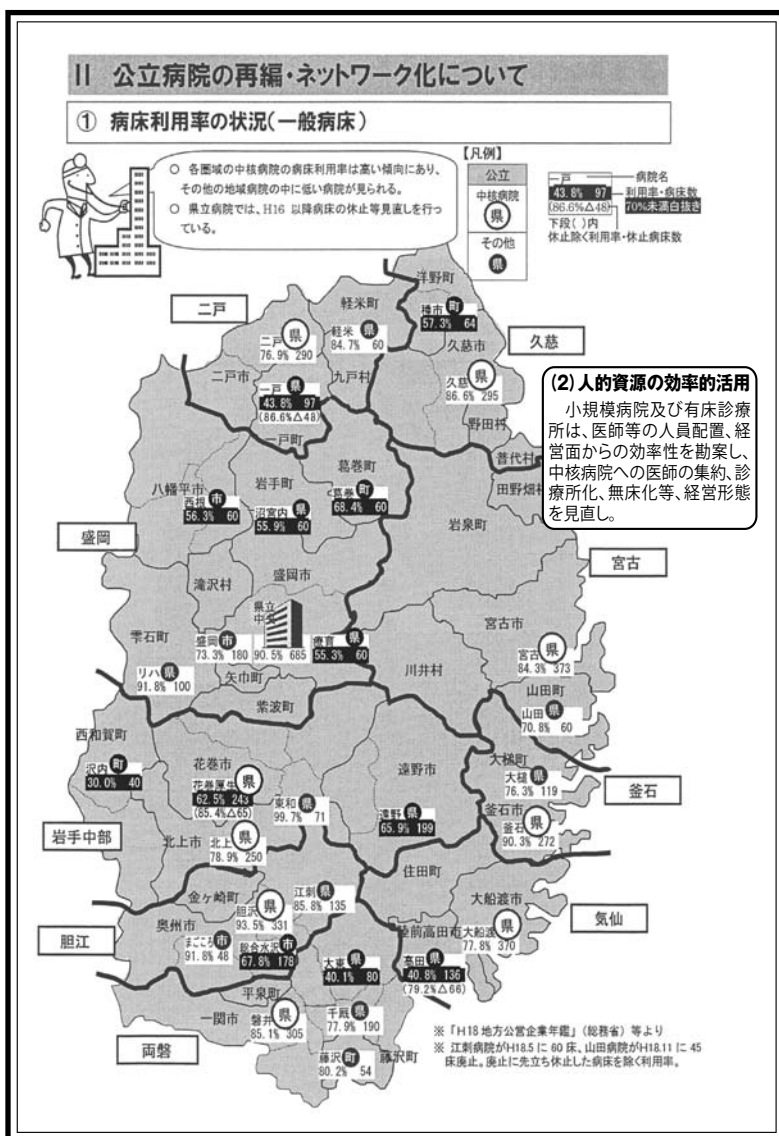
院開設者協議会なども総論賛成を表明するに至っています。

この「ガイドライン」は、総務省が発表して終わりではなく、次は各都道府県が計画を作成し、各開設者（私たちの場合は県医療局）が「自主的に」計画を立てることになっています。

内容を理解し 住民にも伝えよう

各地で行政や病院長への説明会、セミナー等が開催されています。そこでは、「地域医療を守ろう」ということがテーマとなり、「ガイドライン」への批判「ガイドラインは総務省の人でなく、公認会計士が作成し

たもの」「どんどん医療・保険・福祉から遠ざかっていく」等Ⅱが公然と話されています。



今大事なことは、こうした内容を私たち組合員が学習し、地域のみなさんに伝えていくことです。学習冊子を各支部に送り、八月末には再編等の対象となりそうな市町村を中心に新聞折り込みチラシを入れました。支部で、分会で、地域に必要な医療とは何か、地

域医療の重要性を話し合いまししょう。また、地域医療懇談会を数多く開催することが大事です。



100年後の 子どもたちのために



「船久保さんさ」でオープニング



トーク・トーク「沢内からもらった希望」

初めて町段階で行われた今年の母親大会には県内から千人を超える参加者が集まり、県医労からは十八支部・本部六十五名が参加しました。

岩手県母親大会in紫波

七月六日、岩手県母親大会が紫波町で開催されました。午前は医療、環境、農業、男女平等など六つの分科会・シンポジウムが行われ、どこも入りきれないほどの参加者であふれました。また、見学分科会では、あらえびす記念館や、町の木材を使

って建てられた小学校・保育園の見学など、紫波町の掲げる「百年後の子どもたちのために、循環型町づくりを」の理念が感じられた分科会でした。午後の全体会は、サン・ビレッジ紫波を会場に、紫波町の無形文化財「船久保さんさ」で開幕。子どもと大人が一緒に舞う力強い振りに、拍手がわきました。全体会では、記録映画「いのちの作法」のプロデュ

サー都鳥拓也さん・伸也さんが、「沢内からもらった希望」と題して、沢内出身の遠藤寿美子さんの司会のもとにトーク・トークを行いました。母親大会史上最年少二十五歳の二人の話し、「未来を感じた」「いのちの大切さ、人々との関わり大切さを感じた（地域力）」などの感想が寄せられました。

私たちも
参加しました。



千厩、磐井、
南光支部の
みなさん

参加者が二百人を超えたシンポジウム「女性も男性も人間らしく生きるために」に参加しました。いろいろな年代・職業の方の話が聞けて良かったです。とくに、パネラーの育児休業中の男性の話聞いて、父親も子育てに参加しやすくするためには、社会や職場が変わる必要があると感じました。

(M子)

ケータイ・ネット社会と子ども

ケータイが子どもたちにどのような影響を与えているのか、考える機会になると思い、この分科会に参加しました。

「子どもにケータイを持たせてもよいか？」と悩むお母さん。その一方で「不登校でもケータイが人とのつながりとなり、立ち直るきっかけになっている」という発言も。ベビーカーを押しながら、あるいは、食事をしながらメールをしているママ、パパ。

インターネットカフェで一夜を明かす若者達にとっては命に直結する問題。ケータイがなければ仕事に就くこともできません。

私たち大人は、ケータイの特性を知り、それを子どもたちに伝え、新しいコミュニケーション手段のツールとして、使われるのではなく、



南光支部の〇〇〇〇さん（左）と〇〇〇〇さん（右）

使うということで、子どもたちに寄り添っていかねばならないと思いました。

南光支部

〇〇〇〇

熱い! 暑い! 第54回 母親大会

日本母親大会 in 愛知



「初めて参加しました」
二戸支部の〇〇〇〇さん（左）と〇〇〇〇さん（右）

日本母親大会は、七月二十六・二十七日、愛知県名古屋市で開催されました。大会には、二日間で延べ

一万五千人、岩手からは四十九人（県医労は三支部・本部六人）が参加しました。一日目は、名古屋工業大学を中心にした三十八の分科会と、「いのちとくらしを守ろう!」など、

母親の願いを訴えてパレードが行われました。二日目は全体会。会場の

ポートメッセなどやに入ると、壁面には願いを記した二千に及ぶまわりの花。午前は地元中学生の和太鼓と踊り「花祭り」、午後は日本福祉大学生のダンスなど、若さあふれるオープニングで開幕しました。記念講演は一橋大学教授・渡辺治さんが、六十年安保から現在までの憲法との関わりについて講演。今日の運動では、トヨタ過労死裁判の合唱構成劇が感動的でした。また、岩手からは盛精従組が母親大会で二度目の訴えをしました。



合唱構成劇で「トヨタ過労死裁判」を紹介



全体会（ポートメッセなごや）

日本医労連第58回定期大会

医療崩壊から再生へ

日本医労連第五十八回定期大会は七月二十九日から七月三十一日の三日間、愛知県豊橋市において、開催されました。全国から代議員、傍聴者、役員、三百三十五名が参加しました。県医労からは三名、岩手からは八名参加しました。今大会には、医療問題での世論が盛り上がる中、二人の国会議員が挨拶に駆けつけ、百一名の国会議員からメッセージが寄せられました。医療・福祉再生、増員、組織拡大、強化など全ての議案が採択され、〇八年度の運動方針が決定しました。



田中執行委員長は、「たたかえ

ば変わる」私たちの運動が世論を作り、政治を動かしてきた。今年は、「たたかえ、変える」運動にした」と挨拶。

討論では、岡山県医労連から、増員署名を野球のオープン戦や、成人式でも取り組んだことが報告され、富山からは、介護現場をめぐる問題について、介護の現場はまったなしであり、全国的な行動を提起して欲しいと発言。岩手からは、〇〇書記長が総務省指導のガイドラインにより、地方

の医療が崩壊してしまう、全国的な運動をと訴えました。大会討論は三日間で六十



大会で発言する〇〇書記長

看護部会

安全・安心の看護をめざして

—2008年度 役員体制決定!!—

第2回看護部会が8月20日（水）国保会館にて開催されました。

今年も「安全・安心の看護」の実現に取り組む事を確認し、秋には指導監交渉を行うことを予定しました。

看護部会では各支部の問題を議題に取り上げていきます。看護職員の皆さん!!どうぞ看護部会に参加して下さい。役員の方々は以下の通りです。

2008年度 看護部会役員体制			
看護部会長	○ ○ ○ ○	中央支部	
副看護部会長	○ ○ ○ ○	千厩支部	
	○ ○ ○ ○	宮古支部	

次回の看護部会は9月25日（木）
10時30分から「プラザあでって」です!

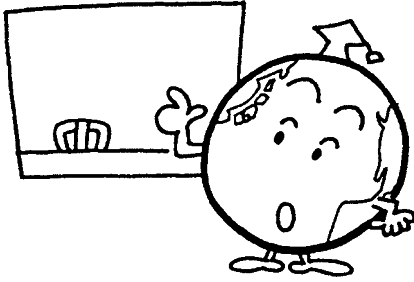
つばざき

全国医療研は最高でした。特に埼玉県の済生会栗橋病院の本田医師の講演は素晴らしかったです。参加できなかった人たちに伝達したいと思いました。

南光支部 〇〇〇〇

人手不足で毎日毎日が残業です。疲れも取れないのですが、温暖化対策の為、エコ活動も頑張っています。未来の子ども達のためにも!!

二戸支部 キョンキョン



看護体制が七対一になり人員は確かに増えた。しかし、なぜかみんなの不満も増えているのも確かです。

中央支部 クッキーママ

七月から水沢へ引っ越し、毎日の通勤時間が十分から四十分へUP(＜)運転へタな私…。自分の運転に酔いそう…。

大東支部 夏バテ

サマージャンボも当たらなかったし、今年の夏はいことがありませんでした。

七月号パズル

当選者発表

七月号の新春パズル「まちがいは七つ」には、二十名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の十名が当選されましたので図書カードを贈ります。

た。秋には何かいいことがありますように…ポンポン。祈っています。

磐井支部 チャピーママ

夏が過ぎれば秋。秋の次は冬。冬になれば雪道…。また恐怖の通勤時間になるなど今から考えてしまう今日この頃です。

大船渡支部 エアグループ



当選者(敬称略)

キョンキョン(二戸支部)、クッキーママ(中央支部)、コスモス(遠野支部)、DS子(北上支部)、〇〇〇〇〇、セントアキ(以上、胆沢支部)、チャピーママ(磐井支部)、ドスコイ王子(千厩支部)、ecoな人(高田支部)、エアグループ(大船渡支部)

とんがらし

大正十二(一九二三)年九月一日、土曜日。東京付近は未明からの暴風雨が十時頃には収まり、動きの早い雲の切れ目から真夏のような太陽が顔を出した。あちこちの家庭で昼食のための火を使い始めた。午前十一時五十八分、神奈川県西部の地底でついに岩盤の大破壊が始まった▼一瞬のうちに、湘南地方、横浜、房総南部の大地も狂ったように波打ち始めた。十秒後東京も揺れだした。M7.9。烈震地域の至る所で、地盤・道路・橋・鉄道・堤防などの崩壊や山崩れ・崖崩れが地震と同時に発生し、走行中の列車の脱線・転覆も二十本以上に及んだ。一万八千戸倒壊、五万五千戸以上焼失、二万六千六百余人が死亡。(以上石橋克彦著「大地震動乱の時代」より)世に言

う関東大震災です▼岩手は短期間に二度も大きな地震を経験しました。関東大震災を起した巨大地震は、突然起きた訳ではありません。先だって各地で大きな地震が頻発し続けていました。最近の全国各地で頻発している地震は、やがて起きるであろう「巨大地震」を予告しているように思えてなりません▼九月一日は、「防災の日」です。「自然」は私たちの想定を遙かに超えた動きをします。地震大国ニッポンの備えは万全でしょうか。答えは否です。原子力発電所が列島各地に点在している現状をどう受け止めたらいのでしょうか。「安全」なはずの原子炉が、故障や事故で何基も運転中止になっています。国家プロジェクト「原発」。国民の命と安全を考えた政治が行われているのか。取り返しのつかない事態になる前に、しつこく問い続けましょう。

フレッシュセミナー

日時 ① 10月22～23日
② 10月25～26日
開会13:30 閉会12:00
(①、②のいずれかに参加)

会場 ホテル森の風鶯宿



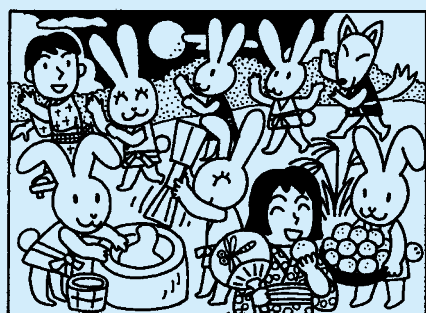
温泉で
リフレッシュ!
そして労働者の
権利を学ぼう

職場川柳

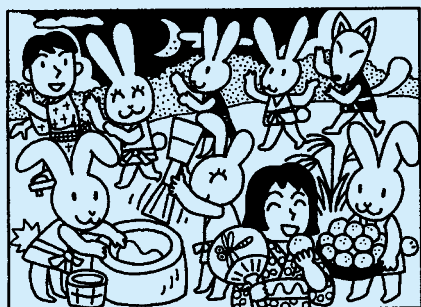
- 被爆国 インドの核は 認めるの (二枚舌)
- ただで上げ そこから買つてる 油かな (自虐の政府)
- 秋刀魚より 鯛に手が行く 原油高 (食通)
- 人足りず 夏には取れぬ 夏季休暇 (ご先祖様)
- 8月に 熱燗恋し お盆過ぎ (寒う)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に七つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で十名の組合員に記念品を送ります。送り先は〒〇二〇〇〇二三 盛岡市内丸十一―一、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は九月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ 羽月桂子



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いて下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく!

9月の予定

- 3日(水)～4日(木) 日本医労連増員闘争全国交流集会
- 6日(土)～7日(日) 岩手医労連定期大会(ホテル大観)
- 10日(水) 給食問題研究会(アイーナ)
- 院内保育所での医療局交渉(水産会館)
- 13日(土) いわて労連定期大会(アイーナ)
- 20日(土) 支部長会議(県民会館)
- 24日(水) 衛生委員会担当者会議(水産会館)
- 25日(木) 看護部会(プラザおでって)
- 25日(木)～26日(金) 医労連共済全国交流会(千葉)
- 27日(土)～28日(日) 岩手医労連壮年部集会(愛真館)

10月の予定

- 2日(木) 女性部長会議(国保会館)
- 4日(土) いのちと健康を守る東北セミナー(花巻温泉)
- 9日(木) 岩手医労連女性部定期大会(国保会館)
- 11日(土)～12日(日) メンタルヘルス全国交流集会(京都)
- 17日(金) 情勢学習会(ホテル東日本)
- 元中央執行委員長・川口浩さんを偲ぶ会
- 18日(土) 第140回中央委員会(ホテル東日本)
- 19日(日) 医師・看護師・看護職員増やせ!
- 地域医療を守れ中央集会(東京)
- 22日(水)～23日(木) フレッシュセミナー(ホテル森の風)
- 25日(土)～26日(日) フレッシュセミナー(ホテル森の風)
- はたらく女性の中央集会(東京)
- 看護講座(長野)
- 28日(火) 看護部会